

令和7年度福井県総合防災訓練において移動通信機器の貸出などの訓練を実施

総務省北陸総合通信局（局長：片山 寅真）は、令和7年11月8日（土）、令和7年度福井県総合防災訓練（主催：福井県、越前市）に参加し、主会場となった越前市丹南総合運動公園において、臨時災害放送局の開設訓練及び災害対策用移動通信機器等の展示・説明を実施しました。

訓練は震度6強の地震による被災に伴い、地域住民や滞在者に対して緊急避難情報や被災者支援情報を発信する必要が生じたとの想定で、①市からの要請を受け当局が臨時災害放送局設備（FM設備）を無償貸与する訓練、②市からの口頭での申請を受けて当局が臨時災害放送局を免許する訓練、③市が臨時災害放送局を開設し地域住民に情報伝達する訓練を実施しました。

当日は好天に恵まれ、当局のブースにも多数の災害対応関連機関、地元の方々の来訪があり、当局の災害時における取組をPRすることができました。

北陸総合通信局では災害発生時において、①各県対策本部や市町村に連絡要員（リエゾン）を派遣し、被災地における通信・放送サービスの障害状況を情報提供するとともに被災地の要望を把握、②自治体に対し、通信機材（臨時災害放送局設備、移動電源車、移動通信機器、衛星インターネット機器(starlink)等）の無償貸与を行っています。当局では引き続き、自治体をはじめとする関係機関との連携強化を図り地域の安全・安心に貢献していきます。



多数の災害対応関連機関や地元の方々に当局の災害時における取組を説明



臨時災害放送局の開設訓練も実施